

家庭科学習指導案

学習者 附属小学校6年1組 33名
 指導者 蔦谷 友之

題材名 クリーン作戦で快適に

1. 題材の目標

- (1) 住まいの整理・整頓や清掃の仕方を理解しているとともに、適切にできるようにする。
- (2) 季節の変化に合わせた住まい方、整理・整頓や清掃の仕方について問題を見いだして課題を設定し、様々な解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付けることができるようにする。
- (3) 家族の一員として、生活をよりよくしようと、快適な住まい方について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとするようにする。

2. 題材の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・住まいの主な働きが分かり、季節の変化に合わせた生活の大切さや住まい方について理解している。 ・住まいの整理・整頓や清掃の仕方を理解しているとともに、適切にできる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・季節の変化に合わせた住まい方、整理・整頓や清掃の仕方について問題を見いだして課題を設定し、様々な解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・家族の一員として、生活をよりよくしようと、快適な住まい方について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとしている。

3. 指導と評価の計画（4時間）

時	ねらい（◆）と主な学習活動（○）	評価規準（評価方法）		
		知・技	思・判・表	主体
1	◆清掃の仕方について、学校内の汚れを調査し伝え合う活動を通して、問題を見いだして課題を設定することができる。			
	○キラキラ掃除（毎朝の縦割り班清掃）の写真や、掃除についてのアンケートの結果から、毎日掃除をする意義について考える。	・〈発言分析・記録分析〉	・〈発言分析・記録分析〉	
	○学校内のどこにどんな汚れがあるのかをグループで調べ、タブレット端末に記録する。			




題材のめあて クリーン大作戦に挑戦しよう。



	<p>○調べた結果を伝え合い、汚れの種類と汚れが発生する原因について考える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【想定される児童の姿】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎日掃除していても落としきれない汚れがある。そのままにしていると、健康面や快適な生活に影響が出ることが分かった。 ・汚れにはいろいろな種類があるから、それぞれに合わせた掃除の仕方を工夫していきたい。 </div>			
2	<p>◆「のっている汚れ」の掃除の仕方について、予想をもとにグループで実践したり、他グループとの共通点を話し合ったりする活動を通して、汚れの場所や種類に応じた効果的な掃除の仕方を考えることができる。</p> <p>○前時の写真から、キラキラ掃除でも取りきれしていない「のっている汚れ」の掃除の仕方や必要な道具について考える。</p> <p>○グループで「のっている汚れ」の掃除を実践し、タブレット端末に記録する。</p> <p>○実践した結果を伝え合い、「のっている汚れ」に対する掃除の仕方の共通点を話し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【想定される児童の姿】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上から順に掃除すると効率がいい。 ・ほこりをたてないように掃除するだけでなく、マスク着用や換気などに気を付けることも大切。 ・汚れを掃いたりかき出したりした後に、拭いたりくっつけたりするとさらにきれいになる。 </div>		○〈行動分析・記録分析〉	・〈行動分析・記録分析〉
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【家庭学習】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「のっている汚れ」の掃除を実践し、タブレット端末に記録する。 ・健康や環境への影響に配慮した「付いている汚れ」の掃除の仕方について調べる。 </div>			
3 本時	<p>◆「付いている汚れ」の掃除の仕方について、予想をもとにグループで実践したり、他グループとの共通点を話し合ったりする活動を通して、汚れの場所や種類に応じた効果的な掃除の仕方を考えることができる。</p> <p>○家庭学習の実践内容を交流する。</p> <p>○キラキラ掃除でも取りきれしていない「付いている汚れ」の掃除の仕方について考える。</p> <p>○グループで「付いている汚れ」の掃除を実践し、タブレット端末に記録する。</p> <p>○実践した結果を伝え合い、「付いている汚れ」に対する掃除の仕方の共通点・相違点を話し合う。</p>		○〈発言分析・行動分析・記録分析〉	・〈行動分析・記録分析〉

	<p>【想定される児童の姿】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時間が経った汚れは、水拭きでは落としきれないものがある。 ・汚れによって使う道具を変える必要がある。 ・健康や環境への影響を考えた道具でも、たくさんの汚れが落とせる。 			
	<p>【家庭学習】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「付いている汚れ」の掃除を実践し、タブレット端末に記録する。 			
4	<p>◆「のっている汚れ」や「付いている汚れ」の掃除の仕方を、学校内のプラスアルファ掃除での生かし方や、家庭内の継続的な取組について話し合う活動を通して、学習を生活に生かして、快適で健康な住まい方を実践しようとする事ができる。</p>			
	<p>○家庭学習の実践内容を交流する。 ○本題材の学習を生かした生活の中での実践について考える。</p> <p>【想定される児童の姿】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キラキラ掃除の担当区域に、おすすめの掃除の仕方をお知らせするためのポップを作りたい。 ・キラキラ掃除で落としきれない汚れを、プラスアルファ掃除でピカピカにしていきたい。 ・家庭の「付いている汚れ」をきれいにする事ができたから、維持していきたい。夏休みの生活のめあてにも繋げたい。 	<p>・〈発言分析・記録分析〉</p>		<p>・〈発言分析・記録分析〉</p>

4. 本時の指導 (4/5)

本時のねらい	「付いている汚れ」の掃除の仕方について、予想をもとにグループで実践したり、他グループとの共通点や相違点を話し合ったりする活動を通して、汚れの場所や種類に応じた効果的な掃除の仕方を考えることができるようにする。
評価規準	「付いている汚れ」の掃除の仕方について、汚れの場所や種類に応じた効果的な掃除の仕方を考えている。
具体的な児童の姿	「汚れの種類や場所に合った道具を使うと、付いている汚れでも落とすことができる。」 「時間が経った汚れは、水拭きでは落としきれないものがある。」 「健康や環境への影響を考えた道具でも、たくさんの汚れが落とせる。」

時間	児童の活動	指導〇及び留意点・ ①評価(方法)※支援を要する児童への手立て	準備物
3分	1. 本時の課題を確認する。	○前時までの活動の振り返りから、本時は「付いているよごれ」の掃除の仕方について考えることを確認し、課題を提示する。	タブレット 端末
課題 「付いているよごれ」は、どのようにそうじすればいいのだろう。			
5分	<p>前時に移行 (3/5)</p> <p>2. 「付いている汚れ」の掃除の仕方や必要な道具について考える。</p> 	<p>○グループで、「付いている汚れ」の掃除の仕方や必要な道具について、事前に調べた情報をもとに話し合うようにする。</p> <p>・汚れの種類に応じた掃除道具について、学級全体で出し合い情報を共有させることで、各グループの実践に取り入れられるようにする。</p>	ワークシート
15分	<p>3. グループで「付いているよごれ」の掃除に取り組む。</p>  	<p>○各グループで担当の掃除場所に分かれ、「付いている汚れ」の掃除に取り組むようにする。</p> <p>・児童が事前に調べた情報をもとに必要な道具を準備しておき、汚れの場所や種類に応じた掃除の効果を、色々と試せるようにする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【想定される掃除道具】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ぞうきん ・メラミンスポンジ ・歯ブラシ ・お湯 ・重曹水 ・クエン酸水 など <p>(児童が事前に調べた情報をもとに準備する)</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【想定される汚れの種類】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・壁の黒ずみ ・窓の皮脂汚れ ・手洗い場の水垢、石鹸カス、墨汚れ など <p>(児童が事前に調べた情報をもとに選定する)</p> </div>	タブレット 端末 必要な掃除 道具 (左 記)

<p>10分</p>	 <p>4. 実践した結果を伝え合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「掃除前の状態」「掃除の様子」「掃除後の状態」をタブレット端末に記録するようにする。 ・最も効果的だった方法と、あまり効果的でなかった方法をロイロノートにまとめられるようにする。 <p>※なかなか汚れが落とせず困っているグループには、汚れの原因を考えさせたり、他の道具を試させたりする。頑固な汚れがある場合は、状況によって「重曹パック」「クエン酸パック」を試すようにする。</p> <p>◎「付いている汚れ」の掃除の仕方について、汚れの場所や種類に応じた効果的な掃除の仕方を考えている。〈行動分析・記録分析〉</p> <p>○掃除の様子を記録した写真をもとに、学級全体の場で各グループの実践を発表する時間を設ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各グループの発表を聞きながら、掃除の結果を板書にまとめる。 ・最も効果的だった方法と、あまり効果的でなかった方法に視点を絞り発表できるようにする。 	
<p>10分</p>	<p>5. 「付いている汚れ」に対する掃除の仕方の共通点・相違点を話し合う。</p> 	<p>○各グループの結果を比較し、共通点・相違点を出し合うようにする。</p> <p>◎「付いている汚れ」の掃除の仕方について、汚れの場所や種類に応じた効果的な掃除の仕方を考えている。〈発言分析〉</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【想定される児童の姿】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時間が経った汚れは、水拭きでは落としきれないものがある。 ・汚れによって使う道具を変える必要がある。 ・健康や環境への影響を考えた道具でも、たくさん汚れが落とせる。 </div>	<p>ワークシート</p>
<p>7分</p>	<p>6. 本時のまとめと振り返りを行う。</p> <div style="border: 2px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> <p>まとめ 「付いているよごれ」は、よごれの種類によって、道具を使い分けて掃除することが大切。</p> </div>	<p>○それぞれの言葉でまとめを書くようにする。</p> <p>○「のっている汚れ」「付いている汚れ」について学習したことを、どのように生活の中に生かしていきたいか問いかけ、次時の活動に繋がられるようにする。</p>	<p>ワークシート</p>

情報活用能力の育成について

○児童が事前に調べた情報をもとに必要な道具を準備しておき、汚れの場所や種類に応じた掃除の効果を、色々と試せるようにした。予想をもとに実践するだけでなく、それぞれの掃除場所でグループの友達と活発に意見を交わしながら試行錯誤する姿が見られた。

○学習内容を日常生活に繋がられるよう単元指導計画を作成し、健康や自然環境への影響に配慮した用

具を使用したことで、誰でも実践を継続できるようにした。毎朝のキラキラ掃除では、たくさんの6年生が重曹やクエン酸、歯ブラシ等を使用し、「付いている汚れ」落としに主体的に取り組む姿が見られた。

▲界面活性剤を使用した洗剤等の効果や種類についてはあまり扱えておらず、理科との横断的な学習も含め、単元構想の中に位置付けていく必要がある。

▲各グループの実践を学級全体の場に出し合ったり比べ合ったりする際、羅列的に板書したため、共通点や相違点を捉えにくくなった。最も効果的だった方法と、あまり効果的でなかった方法に視点を絞り、出し合わせたり板書したりすることで、汚れの場所や種類に応じた効果的な掃除の仕方を捉えられるようにする必要がある。

